



おおむら花菖蒲まつり会場

友好交流都市 長崎県大村市

2024年5月31日～6月1日

花しょうぶ祭りは、大村市と飯南町との交流をさらに深める良い機会となりました。

おおむら花菖蒲まつり

大村市訪問記

参加議員
高橋英次
安部 丘
平石玲児

初日



車両基地内の「かもめ」

大村市と秋田県仙北市の姉妹都市提携45周年記念行事に特別に参加しました。大村市と仙北市（角館）の縁は、今から156年前の戊辰戦争から始まりました。当時、東北地方で新政府軍として孤立していた秋田佐竹藩に対し、大村藩士をはじめ、各地から応援に駆けつけ、生命をなげうって戦火から守ったことから始まりました。

1979年に姉妹都市提携を結び、45年間にわたり文化交流や経済協力を続けてこられました。この記念行事では、地域の歴史や友情を祝い、今後のさらなる交流を誓い合う場となりました。

二日目

JR九州西新幹線の新幹線基地「大村車両管理室」を見学する貴重な機会を得ました。



おやまばやし

大村車両管理室では、最新の鉄道技術やメンテナンスの工程を学び、興味深い説明を受けました。この見学を通じて、地域のインフラ整備の重要性や技術の進歩に対する理解が深まりました。

花しょうぶ祭り

花しょうぶ祭りは大村公園で開催され、地域の魅力を存分に楽しめるイベントです。171種類、約3万株の色とりどりの美しい花しょうぶが咲き誇る景観は圧巻で、満開の花の傍らでは、飯南町、伊丹市、仙北市の地域の特産品や工芸品の展示・販売コーナーが設けられました。

飯南町からは、一福のそば、観光りんご園のリンゴジュース、森林組合の乾燥舞茸などが販売され、売り切れるほど人気を博していました。

特設会場では、仙北市角館地域

の誇りある伝統の踊り「おやまばやし」が披露され、太鼓や笛の音に合わせて踊る力強いパフォーマンスに触れることができました。

子供たちの交流

昨年夏には、飯南町から大村ポートレース場付近で打ち上げられる花火の見学や、海でのバナナボート遊びなどを体験しています。今年冬には、大村市からスキーなどを体験する行事が予定されており、地域や文化の違いを超えて友情を育む機会があります。

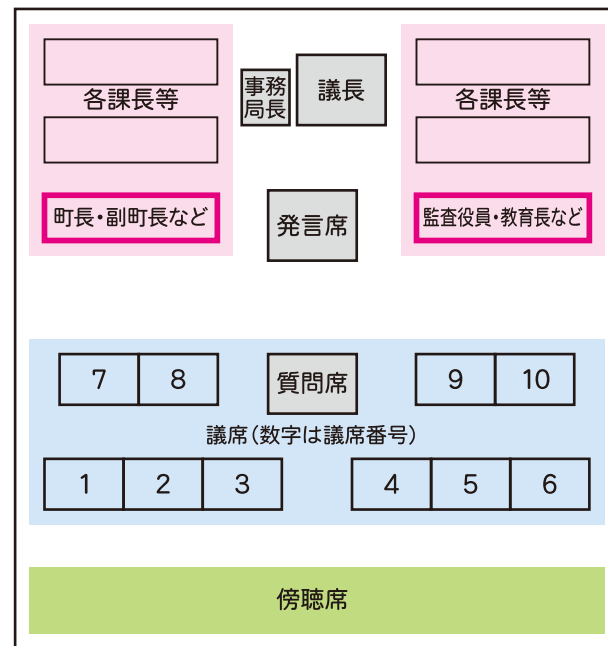
このような子供たちの交流は、将来的な地域間のつながりを強化し、次世代へのさらなる発展が促進されると思います。

地域の魅力を共有し、文化や伝統を次世代に伝える重要な機会ととらえ、今後も続けていくことを期待します。

特集 議会傍聴の疑問に答えて

昨年12月議会の最終日に傍聴に来てくれた赤来中学校3年生（当時）から、感想や質問をいただきました。議会に参加している人が何の役割をしているのか、議場にある台はどんな時に誰が使うのかといった、傍聴したからこそ生まれた疑問点を書いてありました。

そこで、議会のことを住民のみなさんにもっと知っていただき、町政に関心を持っていただきたいと思います。議会報で特集することになりました。今回は、年4回行われる議会（定例会）の初日の様子をご紹介します。



●本会議（初日）

①飯南町議会会議規則に従って、会議録署名議員を議長が指名します。（2名）

②議会運営委員長が会期・日程を提案し、全議員で決定します。

③議長より、議員が出席した主な会議等と議案が報告され、飯南町監査委員より、現金出納検査報告等があります。



監査委員による報告

④議会に届いた請願と陳情があれば、委員会に付託されます。

⑤町長提出議案上程。

⑥町長行政報告及び提案理由の要旨説明。ケーブルテレビで放送され、原稿は町のホームページで公開されます。

⑦担当課長などから議案等について詳しい説明があります。

⑧議員は説明された内容に対する質疑をします。

⑨議案等の審査を本会議の議決に先立って委員会にゆだねます。（委員会付託）



前回の議会報「飯南」第77号の記事、「飯南町議会って何？」もあわせてご覧ください。

